

九頭竜川・北川水系河川水質汚濁防止連絡協議会

資料配布

配布日 平成26年6月26日
時 20時30分

件名 ちなほらしゅすい
智那洞取水ダムの油流出事故について（第1報）

概要

- ・本日10:00、電源開発（株）が管理する智那洞ダムにて油流出を確認しました。
- ・原因は、ダムのゲート設備における管路設備の交換に伴う油漏れです。
- ・事故発生箇所付近において、魚の斃死（へいし）及び異臭は確認されていません。
- ・事故発生箇所下流の石徹白（いとしろ）川、九頭竜ダム湖への油流出も確認されていません。
- ・油流出防止対策として、4箇所オイルフェンス設置済みです。
- ・現在、九頭竜川での取水等の影響は確認中です。

取扱い

同時配布 福井県政記者クラブ
大野市結の故郷推進室

九頭竜川・北川水系河川水質汚濁防止連絡協議会
近畿地方整備局福井河川国道事務所
近畿地方整備局九頭竜川ダム統合管理事務所

〈問い合わせ先〉
九頭竜川ダム統合管理事務所
管理課長 森川 修
電話：0779-66-5300（代表）内線331

智那洞取水ダムの油流出について（第1報）

1. 発生日時
平成26年6月26日(木) 10:00頃
2. 発見者
電源開発株式会社 職員
3. 原因
ダムのゲート設備における管路設備の交換に伴う油漏れ（1リットル弱と見込まれる）
4. 影響
 - ・事故発生箇所付近において、魚の斃死（へいし）及び異臭は確認されていません。
 - ・事故発生箇所下流の石徹白（いとしろ）川、九頭竜ダム湖への油流出も確認されていません。
5. 対応状況
 - 11:00 此の木谷川 オイルフェンス・油吸着マット 設置完了
 - ・電源開発（株）によるオイルフェンス展張箇所④（監視員付き）
 - 12:00 智那洞川 オイルフェンス・油吸着マット 設置完了
 - ・電源開発（株）によるオイルフェンス展張箇所①、②、③
 - 14:00 福井県健康福祉センター職員による現地調査
 - 16:00 此の木谷川、智那洞川、九頭竜ダム湖への油流出は、確認されていません。
 - ・電源開発（株）が油流出の監視を継続している。
6. 今後の対応
 - ・現在、九頭竜川での取水等の影響は、「九頭竜川・北川水系河川水質汚濁防止連絡協議会」を通じて確認中。
 - ・明日、油流出原因と今後の措置について福井県健康福祉センターに報告するとともに、九頭竜川ダム統合管理事務所が現地確認を行い、九頭竜川ダム統合管理事務所の指導助言を受けて、電源開発（株）が対応する予定。

位置図

縮尺 1 : 450,000

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10km



日本海

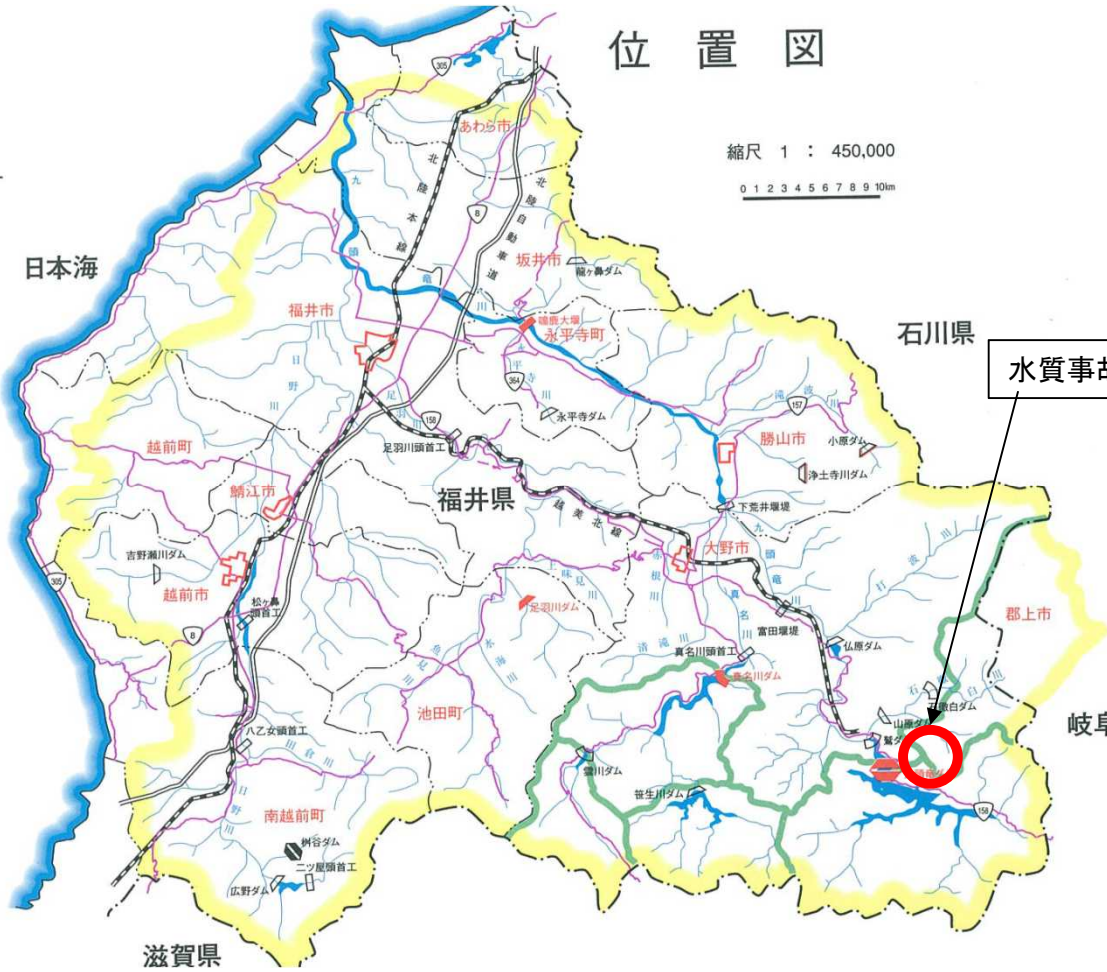
石川県

水質事故発生箇所

福井県

岐阜県

滋賀県





オイルフェンス展張箇所①



オイルフェンス展張箇所③

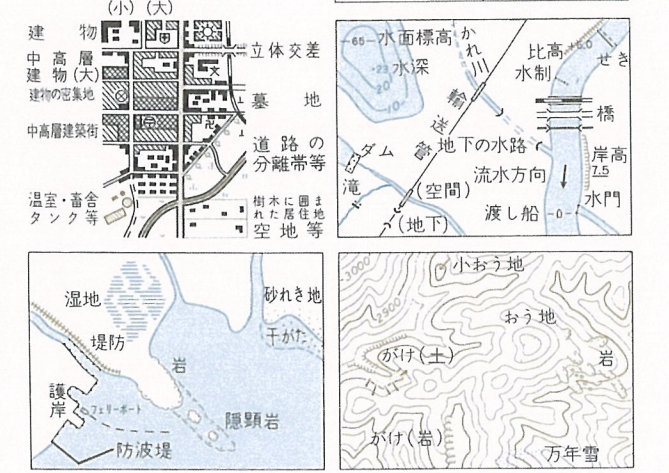


凡例
 △・・・オイルフェンス展張箇所
 □・・・監視員配置箇所

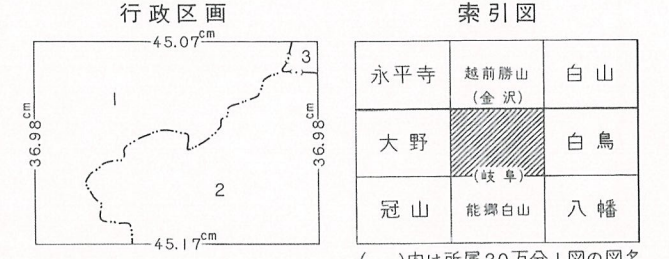


オイルフェンス展張箇所④

休止中の普通鉄道	×小・中学校	心	心
橋および高架部	◎高等学校	↓	↓
切取	(大)大学、(短)短大、(専)専大	↓	↓
盛土部	(大)大学、(短)短大、(専)専大	↓	↓
送電線		↓	↓
い		↓	↓
石		↓	↓
都・府・県界		↓	↓
北海道の支庁界		↓	↓
郡・市界、東京都の区界		↓	↓
町・村界、指定都市の区界		↓	↓
特定地区区界		↓	↓
植生界		↓	↓
△52.5 三角点	・124.7 標石のある標高点		
○21.7 水準点	・125 標石のない標高点		



1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
2. 図郭に付した短線は経緯度差1分ごとの目盛
3. 高さの基準は東京湾の平均海面
4. 等高線の間隔は20メートル
5. 磁針方位は西偏約7°0'
6. 図式は平成元年1:50,000地形図図式



福井県
 1. 大野市 2. 大野郡
 岐阜県
 3. 郡上郡

位置図

明治43年測量
 昭和46年編集
 平成4年修正
 資料：平成2年修正測量1:25,000地形図
 茶色の経緯度数値は世界測地系(平成14年4月1日から適用)による

1:50,000 荒島岳